

令和7年度入学生 キャリア教育全体計画書

1 全体目標

学校番号	37	学校名（課程）	長野県小諸高等学校（全日制）
------	----	---------	----------------

○生徒一人ひとりが将来の人生設計を描き、職業観・人生観を構築するとともに、社会性やコミュニケーション能力などの「生きる力」を育てる。

2 現状・課題

○全体として協調性があり、諸問題に前向きに取り組む生徒が多い。しかしその行動は必ず能動的ではなく、指示をうけ従順に動くことによってもたらされることが多い。自らの人生設計においても傾向は同様で、主体的に行動し、さまざまな人々との交流を通して自己実現をはかることが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）【キャリア・デザイン力】を含める。学校で言い換えた力でもよい。

- a. 社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力・課題対応能力
- b. 自己理解・社会理解とそれを基礎とした将来設計能力
- c. コミュニケーション能力を中心とする人間関係・社会関係形成能力
- d. 社会人・職業人としての社会規範やマナー

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する ②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む ③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す ④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	ア 授業をはじめ学校生活全体がキャリア学習の場と捉え、生徒にも意識させる。 イ 3年間を通しての系統的指導を行う。 ウ 年度末に評価を行い、次年度の取組に生かす。 エ 自己理解、社会理解、社会や職業に対応できる基礎的・汎用的能力の向上に努める。<①, ②, ④> オ 地域社会や産業界、大学等との連携を図り、その力を活用する。<②, ③> カ 諸行事や就業体験活動と事前事後指導を通し、目標とする諸能力の向上を図り、その成果を確認する。<①, ②, ③> キ 学んでいることと社会や進路とのつながりを意識させる。<②, ④>

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活用、数理処理、各教科の知識等基礎学力向上を図り、さらに思考力・判断力・表現力を育成するための諸活動を取り入れる。 ・教材内容と社会や職業との関連性を意識させる指導を行う。 ・音楽科においては、特に専門技能の向上を図る。
総合的な探究の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解から自己の将来までを考える。また、目標達成のための情報収集・調査を行い、進路実現の準備とする。<1~3年> 探究週間<1年>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や生徒会活動、文化祭への参加を通しての諸能力の育成。<1、2、3年> ・人間としてのあり方や生き方を考えるための講演会等の実施。<1、2、3年> ・科目、講座選択、進路の研究。<1、2、3年> ・社会講座等<3年>
校外の体験活動 (就業体験活動等)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験活動<1、2年を中心> ・オープンキャンパス等への参加<1、2、3年>
地域や産業界等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・探究週間<1年> ・就業体験、企業見学 ・大学等見学
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教員アンケート、レポート、プレゼンテーション等による評価 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用

中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア教育の振り返り(入学時)
校内の推進体制	・「キャリア教育推進委員会」を設置する。 ・進路指導係内にキャリア教育担当を置く。学年担任団との密接な連携。全教職員で推進。
キャリア・パスポートの取組	・オンラインツール等を活用し、自らの学習を見通し、振り返るとともに将来への展望をはかる。 ・教員や家族が対話的に関わることができるように配慮する。

5 学年別指導計画

	1年	2年	3年
目標	○高校生活の基本確立、学習方法の習得 ○自己理解と職業についての学習	○自己理解の深化 ○進路分野決定に向けて職業・学校調べ	○将来の目標・志を考えた進路目標決定 ○進路希望実現
主な取組	○学級活動、諸行事への取り組みを通しての高校生活への適応 ○探究週間 ○自己理解に基づく次年度科目選択 ○「総合的な探究の時間」	○進路分野決定と次年度科目選択 ○「総合的な探究の時間」 ○就業体験活動 ○進路分野別のプレゼンテーション	○具体的進路目標設定と目標実現に向けて取り組み ○「総合的な探究の時間」
評価	・生徒意識調査(県教委) ・学校独自アンケート、面接 ・探究週間レポート	・生徒意識調査(県教委)・ ・学校独自アンケート、面接 ・レポート・プレゼンテーション	・生徒意識調査(県教委)・ ・学校独自アンケート、面接 ・レポート(受験報告書)

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

教科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
(記入例) ・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割を考える	特別養護老人ホーム訪問に向けて(講話及びホームルーム活動)	ポートフォリオを用いた自己評価
	4 シラバス説明 学習方法の指導(各教科) 現代社会についての理解と現状認識の学習(各教科・通年) タブレットの利用と表現方法の修得(各教科・通年) 「重唱・重奏」コミュニケーション能力育成(音楽科・通年)	進路講話 ふれあい合宿(音楽科) 文化祭に向けて 芸術鑑賞 LHR「職業を知ろう」	進路希望調査 朝読書(通年) 生活実態調査 個別進路相談
	7 介護・看護・保育体験(希望者)	夏期補習 オープンキャンパスへの参加	
	9 「本の帯づくり」 11 2年生の探究成果発表会への参加 探究週間 (職業講話・ジョブインタビュー・就業体験学習・レポート作成)	信州大学入試研究会 クラスマッチ 進路相談会への参加 大学見学会 音楽科研修旅行 大学出前授業	個別進路相談
	12 3 体験学習発表	進路ガイダンス 進路伝達講習会 LHR「職業に関わる進路を考えよう」	生徒意識調査 職員アンケート 年間調査・評価と次年度計画
	1 春休み	オープンキャンパスへの参加	
	3 小論文対策講座 基礎学力定着のための学習講座		

2年 (小諸新校統合のため仮案)	4 タブレットの利用と表現、プレゼン、データ処理等(通年) 「公共」において地域社会や国内外の課題に対するグループワーク	オリエンテーション 自己理解	4 進路講話 6 大学・短大・専門学校説明会(長野) 修学旅行調べ学習とまとめ 7 文化祭 学年保健講話 進路講話	進路希望調査 朝読書(通年)
	7 夏 休 9 12	就業体験活動 就業体験事後指導 10 キャリア情報収集活動 12 進路分野別プレゼンテーション	介護・看護・保育体験(希望者) 進学補習 オープンキャンパスへの参加 9 LHR事後指導、レポート作成 信州大学研究会 学校説明・進路相談会参加(希望者) クラスマッチ 3年次科目選択 人権平和学習 11 大学出前授業	生活実態調査 個別進路相談
	1 3 小論文、志願理由書対策講座 基礎学力定着のための学習講座	1 キャリア情報収集活動 2 小論文学習 3 小論文学習	2 進路伝達講習会 3 進路ガイダンス 小論文講座 公務員試験講座 学校説明・進路相談会参加(希望者) 就職説明会	職員アンケート 年間調査・評価と次年度計画
	春 休			
	4 「政治経済」社会問題についてのグループワーク タブレットの利用と表現 プrezentーション、データ処理等(通年)	6 就職ガイダンス 7 小論文・志願理由書ガイダンス	4 進路講話 5 芸術鑑賞 一日看護師体験 6 進路相談会参加(全員) 企業見学会(希望者) 7 文化祭	進路希望調査 朝読書(通年) 生活実態調査 就職指導 進学指導 三者面談 進路相談
	7 夏 小論文対策(各分野別課題) 休 み		介護・看護・保育等体験(希望者) 進学補習 オープンキャンパス、事業所見学 学習マラソン(普通科)	
	9 12		信州大学研究会 学校説明・進路相談会参加 人権平和学習	進路希望調査 生徒意識調査(県教委) 個別進路相談 受験報告書作成
	1 3		社会人講座	受験報告書作成 3年間を振り返って 職員アンケート